

2021年度レベル別教育プログラム

対 象	研 修 名	研 修 目 標	講 師	日 時																	
レベル1	*新人看護職員対象：入職時研修 パートI 既卒新採用者も必須	*看護部の一員として自己の役割を果たすために必要な知識・技術を理解する	看護部長 看護副部長 教育責任者 新人看護職員研修運営委員師長	4月1日(木)・2(金)																	
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">日時</th> <th style="width: 50%;">研修名</th> <th style="width: 40%;">講師/担当者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/1 (木) 午後</td> <td> 師長紹介 「オリエンテーションI」30分 ①看護部の概要 ②看護師委員会 ③看護師自治会 ④同方会 </td> <td>看護部長</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">*午前病院全体の 新人研修。 昼休憩後より開始</td> <td> 「オリエンテーションII」30分 ①看護協会 ③個人情報保護 ④看護者の倫理綱領 </td> <td>看護副部長</td> </tr> <tr> <td> 「オリエンテーションIII」 ①新人・既卒の教育計画 ②キャリア開発ラダー ③白衣配布・ロッカーの説明 </td> <td>教育責任者</td> </tr> <tr> <td>4/2 (金) 8:30</td> <td>白衣で多目的ホール集合 ・写真撮影</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4/2 (金) 写真撮影終了後～ 17:00</td> <td> 「病棟オリエンテーション」 ①新人・教育担当者自己紹介 ②各部署教育担当者が自部署新人へ病棟オリエンテーション～業務基準・ポータル等使用 ③係長と一緒に病棟へ ④自部署で師長・係長よりオリエンテーション </td> <td> ・各部署教育担当者 ・新人看護職員研修運営委員師長 ・部署師長・係長 </td> </tr> </tbody> </table>			日時	研修名	講師/担当者	4/1 (木) 午後	師長紹介 「オリエンテーションI」30分 ①看護部の概要 ②看護師委員会 ③看護師自治会 ④同方会	看護部長	*午前病院全体の 新人研修。 昼休憩後より開始	「オリエンテーションII」30分 ①看護協会 ③個人情報保護 ④看護者の倫理綱領	看護副部長	「オリエンテーションIII」 ①新人・既卒の教育計画 ②キャリア開発ラダー ③白衣配布・ロッカーの説明	教育責任者	4/2 (金) 8:30	白衣で多目的ホール集合 ・写真撮影		4/2 (金) 写真撮影終了後～ 17:00	「病棟オリエンテーション」 ①新人・教育担当者自己紹介 ②各部署教育担当者が自部署新人へ病棟オリエンテーション～業務基準・ポータル等使用 ③係長と一緒に病棟へ ④自部署で師長・係長よりオリエンテーション	・各部署教育担当者 ・新人看護職員研修運営委員師長 ・部署師長・係長
		日時			研修名	講師/担当者															
		4/1 (木) 午後			師長紹介 「オリエンテーションI」30分 ①看護部の概要 ②看護師委員会 ③看護師自治会 ④同方会	看護部長															
		*午前病院全体の 新人研修。 昼休憩後より開始			「オリエンテーションII」30分 ①看護協会 ③個人情報保護 ④看護者の倫理綱領	看護副部長															
「オリエンテーションIII」 ①新人・既卒の教育計画 ②キャリア開発ラダー ③白衣配布・ロッカーの説明	教育責任者																				
4/2 (金) 8:30	白衣で多目的ホール集合 ・写真撮影																				
4/2 (金) 写真撮影終了後～ 17:00	「病棟オリエンテーション」 ①新人・教育担当者自己紹介 ②各部署教育担当者が自部署新人へ病棟オリエンテーション～業務基準・ポータル等使用 ③係長と一緒に病棟へ ④自部署で師長・係長よりオリエンテーション	・各部署教育担当者 ・新人看護職員研修運営委員師長 ・部署師長・係長																			
*新人看護職員対象：入職時研修 パートII NEW	*看護部の一員として自己の役割を果たすために必要な知識・技術を理解する *先輩看護師と共に行動し、自部署の看護を理解する NEW *自部署の患者の療養生活・環境を理解する NEW 備考) ①一般病棟は1部屋(患者4人)をセル方式で先輩看護師が担当。先輩が看護提供する場面を病室内で見学する。 ②7Bとその他の部署は、先輩看護師のシャドウイングを行い、看護業務を終始見学する。 ③ ①②終了後、できることを少しずつ増やしていく。	各部署教育担当者・ 実地指導者・教育責任者・新人看護職員 研修運営委員師長	上記終了後～ 4月末まで (新人の進捗状況や 部署状況により、 その後も継続)																		
				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">【例】</th> <th style="width: 50%;">実践内容</th> <th style="width: 40%;">担当者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/5～9</td> <td>指導者と共に行動。見学のみのみ。</td> <td rowspan="2">係長</td> </tr> <tr> <td>4/12～16</td> <td>指導者と共に行動。先輩が担当する病室の患者1～2名の清拭・体温・脈・血圧測定・呼吸の観察を見守りで実施。</td> </tr> <tr> <td>4/19～23</td> <td>指導者と共に行動。清拭・体温・脈拍・血圧測定のみ数名見守りのもつて実施。</td> <td>係長</td> </tr> <tr> <td>以降</td> <td>指導者が担当する患者の看護実践から進捗状況に応じて、見守りでできることを機能別かつ段階的に増やしていく。</td> <td>プリセプター等</td> </tr> </tbody> </table>	【例】	実践内容	担当者	4/5～9	指導者と共に行動。見学のみのみ。	係長	4/12～16	指導者と共に行動。先輩が担当する病室の患者1～2名の清拭・体温・脈・血圧測定・呼吸の観察を見守りで実施。	4/19～23	指導者と共に行動。清拭・体温・脈拍・血圧測定のみ数名見守りのもつて実施。	係長	以降	指導者が担当する患者の看護実践から進捗状況に応じて、見守りでできることを機能別かつ段階的に増やしていく。	プリセプター等			
				【例】	実践内容	担当者															
				4/5～9	指導者と共に行動。見学のみのみ。	係長															
				4/12～16	指導者と共に行動。先輩が担当する病室の患者1～2名の清拭・体温・脈・血圧測定・呼吸の観察を見守りで実施。																
4/19～23	指導者と共に行動。清拭・体温・脈拍・血圧測定のみ数名見守りのもつて実施。	係長																			
以降	指導者が担当する患者の看護実践から進捗状況に応じて、見守りでできることを機能別かつ段階的に増やしていく。	プリセプター等																			
*感染予防対策I 既卒新採用者も必須	*当院の標準予防対策、経路別予防対策を理解する *標準予防対策を実施できる	感染管理認定看護師 井上貴子	4月16日(金) 8:45～10:45 多目的1.2																		
*医療安全管理I 「事故防止・事故発生時の対応」 既卒新採用者も必須	*事故防止のための基準・手順・マニュアルを理解する *事故発生時に適切な行動ができるように院内規程を理解する *アレルギー対策について理解する *事故防止～膀胱留置カテーテル・浣腸の事故防止対策を学ぶ	医療安全管理者 五十嵐淑恵	4月15(木) 8:45～10:45 多目的1.2																		
*安全確保の技術 転倒・転落予防 既卒新採用者も必須	*転倒転落の発生機序と当院の予防対策を理解する *当院の転倒・転落のアクシデント事例を知る																				
*診療情報管理I 「看護記録」	*看護記録関連の規程から看護記録とは何かを理解する *看護実践を証明するための記録をどう書くか理解する *法的根拠となる看護記録について理解する *診療情報の倫理的な取り扱いについて理解する	新人看護職員研修運営委員師長	4月15(木) 15:00～16:00 多目的1.2																		

*災害時の対応	*火災・地震・停電等の災害時にリーダーの指示を受け行動できる *赤十字看護師として日常の備えができる	新人看護職員研修運営委員師長	4月15(木) 16:10~17:00 多目的1.2
*注射の基本 (皮下・皮内・筋肉内注射・静脈血採血) *輸液の管理 *輸液ポンプ・シリンジポンプの紹介	*安全に注射を行うための知識・技術を習得する *輸液ポンプ・シリンジポンプを正しく操作するための基本的知識、技術を知る *輸液療法が正確に実施されるために必要な知識・技術を習得する ★学研「ビジュアルナーシングメソッド 新人看護職員技術チェックコースの以下を研修前に視聴 「与薬の技術」 ①バイアル、アンプルからの吸い上げ ②ミキシング、プライミング ③皮下注射 ④筋肉内注射 ⑤皮内注射 「症状・生体機能管理技術」 ①シリンジ採血 ②真空管採血	学研講義活用 新人看護職員研修運営委員/(教育委員かプリセプターの中から1人講師の補助を行う。)	4月22(木) 8:30~17:00 各部署で実施 注)学研視聴は各部署の状況に応じて研修前まで視聴
*正しい検体の取り扱い・検査データの見方	1) 検体の正しい取り扱いを学ぶ(血液・体液・培養・その他) ★学研「ビジュアルナーシングメソッド 新人看護職員技術チェックコースの以下を7月29日まで視聴 ①血液培養 ②咽頭培養 ③胃液培養 ④尿の採取 ⑤喀痰採取 ⑥動脈血採血の準備と検体の取扱い ⑦血糖値測定 注)血糖測定の実技の指導・糖尿病の病態生理・看護は部署の教育担当者が講義・指導する。 2) 部署の特性に応じた検体採取の方法と取扱いを学ぶ NEW 3) 観察に活かす検査データの見方を学ぶ NEW	学研講義活用 各部署教育担当者 教育責任者	1) 学研視聴は各部署の状況に応じて研修前まで視聴 2) は各部署で実施 7/29 注射研修と一緒に教育担当者が実施
*正しい血液製剤の取り扱い	*正しい血液製剤の取り扱いを学ぶ *輸血実施時の観察について理解する ★学研「ビジュアルナーシングメソッド 新人看護職員技術チェックコース「与薬の技術」の以下を3月注射の研修日前に各自視聴 ①輸血の準備 ②輸血の実施 ③輸血中と輸血後の観察	学研講義活用 各部署教育担当者	①学研は3月注射の研修前まで各自視聴 ②実技指導は各部署OJTで実施
*正しい薬品の取り扱い	パート1 *麻薬、危険薬、血液製剤を正しく取り扱うための知識を習得する *ミキシングルームに掲示中の「新人が取り扱いできない薬剤」を理解し、対処方法を学ぶ NEW *上記の他に、自部署の特性に応じた取り扱いに注意を要する薬品と薬品の管理について理解する NEW	各部署教育担当者 教育責任者	7/29 注射研修と一緒に教育担当者が実施
*正しい薬品の取り扱い	パート2 *麻薬、危険薬、血液製剤を正しく取り扱うための知識を習得する ★学研「ビジュアルナーシングメソッド 新人看護職員技術チェックコース「与薬の技術」の以下を3月注射の研修日前に視聴 ①麻薬の理解と管理 ②特別な注意を要する薬剤の管理 ③インスリン製剤の種類・用法と副作用	学研講義活用	学研は3月注射の研修前まで各自視聴
*フィジカルアセスメント I 「対象の身体を診る」	*対象の疾患の病態生理・主な治療法・看護などの知識を活用し、フィジカルアセスメントができる *病態生理と治療と看護についての学習方法を学ぶ	各部署教育担当者/ (教育委員かプリセプターの中から1人講師の補助を行う。)	4月23(金) 8:30~17:00 各部署で実施
*電子カルテ操作訓練	*電子カルテの基本操作を学ぶ *看護実践に活かすための患者の情報収集について学ぶ 注)各部署にある電子カルテ「基本操作・操作のまとめ」の冊子を活用して説明する		
*赤十字と看護倫理 I 「基本原則の理解」	*国内外の保健・医療・看護・福祉の動向について関心を持つ *地域における当院の役割を学び、自部署での看護実践に活かす *患者支援センターの役割を学ぶ *チーム医療における看護師の役割を学ぶ 既卒新採用者も必須	患者支援センター: 佐藤陽子(2020年度に実施した研修動画視聴)	4月27日(月) 13:00~14:50 各部署で視聴
	*倫理的ジレンマに陥ったときに活用するために、看護師の倫理綱領と赤十字の基本原則について理解する *自施設に来院する外国の方等の特性と健康問題、その看護を学ぶ *日本の歴史、宗教、政治、社会、言語、慣習、ジェンダーなどについて学ぶ	新人看護職員研修運営委員会:堀井裕美	4月27(火) 15:00~17:00 多目的1.2
*はじめてのリフレッシュ研修 NEW	*メンタルサポートチームについての紹介 *ケアする自分をケアしよう! *そこが知りたい!同期や先輩のストレス解消法	メンタルサポートチーム看護師長:清水富士子	4月27日(火) 10:00~11:00
*摂食・嚥下障害の看護	*患者が安全に食事摂取できるように、患者の食べる機能をアセスメントし、適切な食事援助方法を選択できる ★学研「ビジュアルナーシングメソッド 新人看護職員技術チェックコース「食事援助技術」の以下の2項目を実技研修前に視聴 ①安全な食事介助のための準備 ②食事介助	学研講義活用 実技は各部署教育担当者/(教育委員かプリセプターが1人講師の補助を行う。)	5月14日(金) 各部署で実施 ・午前学研視聴 ・昼~実技

<p>* 口腔ケア 「摂食・嚥下障害改善、合併症予防」</p>	<p>パート① * 口腔ケアの目的を理解する * 最新の口腔ケアの技術を習得する ★学研「ビジュアルナーシングメソッド新人看護職員技術チェックコース「清潔・衣生活援助技術」以下2項目を実技研修前に視聴 ①臥床患者の口腔ケア ②義歯のある患者の口腔ケア</p>	<p>学研講義活用 実技は各部署教育担当 者に変更/(教育委員 かプリセプターの中 から1人講師の補助 を行う。)</p>	<p>5月21日(金) 8:30~15:00 各部署で実施 (各部署の都合によ り時間の変更可)</p>
	<p>パート② * 挿管中の患者の口腔ケアを学ぶ 備考) I/3H/7Hの際にローテーション研修で見学する NEW ★学研「ビジュアルナーシングメソッド 新人看護職員技術チェックコース「清潔・衣生活援助技術～挿管患者の口腔ケア」をロー テーション研修前に各自視聴</p>	<p>学研講義活用 ICU/3HCU/7HCUの教 育担当者・RSTメン バー</p>	<p>①学研はローテーシ ョン研修前まで各自 視聴 ②見学はローテーシ ョン研修で実施</p>
<p>* リフレッシュ研修: 春</p>	<p>* 自分自身の思いに気づくことができる * 他者の思いを知る * 今後、自分がどのように行動したらよいか考えることができる * 不安・悩みを同期やサポーター・係長と共有し、対処法を見出す ことができる NEW</p>	<p>各部署教育担当者/ サポーター/新人看 護職員研修運営委員 師長/教育責任者</p>	<p>5月21日(金) 15:00~17:00 各部署で実施 (部署の状況により 日時変更可)</p>
<p>* 気管内吸引 * 導尿・膀胱留置カテーテル挿入と管理 * 浣腸(グリセリン・高圧浣腸)</p>	<p>* 根拠に基づいた安全な気管内吸引ができる ★学研「ビジュアルナーシングメソッド新人看護職員技術チェック コース「呼吸・循環を整える技術」を研修前に各自視聴 ①口腔内・鼻腔内吸引 ②体位ドレナージ * 根拠に基づいた安全な導尿・尿管留置ができる 解剖・生理学と禁忌の手法を理解したうえで、安全に実践できる ★学研「ビジュアルナーシングメソッド新人看護職員技術チェック コース「排泄援助技術」の以下を研修前に各自視聴 ①導尿2項目 ②膀胱留置カテーテルの挿入2項目 ③膀胱留置カテーテルの管理 ④膀胱留置カテーテルの抜去 * 根拠に基づいた安全な浣腸ができる ★学研「ビジュアルナーシングメソッド新人看護職員技術チェック コース「排泄援助技術」の以下を研修前に各自視聴 ①浣腸 ②摘便</p>	<p>学研講義活用 各部署教育担当者 (教育委員かプリセ プターの中から1人 講師の補助を行う。)</p>	<p>6月17日(水) 8:30~17:00 各部署で実施</p>
<p>* 急変時の対応</p>	<p>* 救急カート内に整備しておくべき備品が分かる * 救急カート、除細動の日常の点検方法を学ぶ * 急変時の自分の役割が分かる * スタットコールやRRSについて学ぶ ★学研「ビジュアルナーシングメソッド 新人看護職員技術チェッ クコース「救命救急処置技術」の以下5項目を視聴 ①意識レベルの把握 ②一時救命処置(BLS) ③バックバルブマスクの使用法 ④AEDの使用法 ⑤チームメンバーへの応援要請 備考) 既卒新採用者は、本研修の代わりにRRS研修を早期に受講。 新卒新人看護師は今年度中にRRS研修を受講する。</p>	<p>学研講義活用 各部署教育担当者 (教育委員かプリセ プターの中から1人 講師の補助を行う。)</p>	<p>5月27日(水) 8:30~15:45までの 間に各部署で実施 (詳細な時間は各部 署の都合による)</p>
<p>* 気管内挿管の準備と介助</p>	<p>* 気管内挿管の準備と介助が出来るよう知識・技術を習得する 備考) 見学・実践はOP室でのローテーション研修で行う ★学研「ビジュアルナーシングメソッド 新人看護職員技術チェッ クコース「救命救急処置技術～気管挿管の準備と介助」を 研修前に視聴</p>		
<p>* ローテーション研修 オリエンテーション</p>	<p>* ローテーション研修の目的・目標と研修内容を理解する * 研修に必要な事前の準備について理解し、自己学習ができる 備考) オリエンテーション後～研修開始日までは、各部署教育担当 者が事前学習の支援を行う</p>	<p>ICU・3HCU・7HCU/ 救外/手術室/4A 教育担当者・新人看 護職員研修運営委員 師長</p>	<p>5月27日(木) 16:00~17:00</p>
<p>* ローテーション研修</p>	<p>* 手術室・救急外来・ICU・HCU・(4A:OP・ICU・新生児・産科に配 属者のみ)で、自部署で経験できない看護を行う * 看護の継続性を学び、自部署での看護実践に活用する NEW * 自部署で取扱いの少ないME機器を使用している患者の看護場面を 見学する NEW 備考) ①ICU2日間のうち、3HCUでの研修も合わせて行う。(指導者 はICU・3HCUスタッフのいずれか1人が担当する。) ②救外も感染対策を講じたうえで今年度は実施。 ③感染等の状況によっては中止・または延期することあり。</p>	<p>ICU(3HCU)・7HCU/ 救外/手術室/4A 教育担当者・新人看 護職員研修運営委員 師長</p>	<p>日程・メンバー表は 後日部署に掲示予定</p>
<p>* 人工呼吸器の取扱い</p>	<p>* 人工呼吸器を使用する患者の人工呼吸管理を安全に行うために 器械の特性と取り扱い上の留意点を理解する * ICU・3HCU・7HCUでのローテーション研修の際に、人工呼吸器装 着中の患者がいたら看護の実際を見学する NEW ★学研「ビジュアルナーシングメソッド新人看護職員技術チェッ クコース「呼吸・循環を整える技術」の以下6項目をローテ ーション研修前に各自視聴 ①人工呼吸器の準備 ②～⑤管理1~4 ⑥人工呼吸器の回路交換</p>	<p>学研講義活用 ICU・3HCU・ 7HCU教育担当者</p>	<p>①ローテーション研 修前に各自学研視聴 ②看護実践の見学は ローテーション研修 で実施</p>

<p>* スキンケア 最新の褥瘡ケア（皮膚・排泄ケア）</p>	<p>* 最新の褥瘡ケアの知識・技術を習得する * 適切なテープ、被覆材の選択とスキンケアの方法を理解する</p>	<p>認定看護師：小松恵知子・加賀谷奈緒子</p>	<p>褥瘡委員会が開催する研修に必ず参加</p>
<p>* 静脈注射レベル1～3 既卒新採用者も必須 備考) レベル3は末梢静脈注射留置針挿入まで実施する 注) 過去に本研修を当院で受けていない者も受講必須</p>	<p>* 静脈注射の実施基準を理解する * 静脈注射の実施基準に沿って安全に実施できる * 各レベルの実技試験に合格する <u>注意事項) 本研修前に以下の学研のオンデマンド研修の全項目を受講し、テストで満点を取得しておく。</u> ★学研「ビジュアルナーシングメソッド 新人看護職員技術チェックコースの以下を7月29日研修前まで視聴 「与薬の技術」 ①静脈内注射 ②点滴内静脈注射 ③点滴静脈内注射の血管確保 ④ヘパリンロック ⑤静脈内注射（三方活栓からワンショット） 「基礎習得コース」 ①もうヒヤヒヤしない！静注の基本をマスターしよう ②もうオロオロしない！皮下注・筋注の基本をマスターしよう</p>	<p>学研講義活用 各部署教育担当者/新人看護職員研修運営委員師長/教育責任者/(教育委員かブリセプターの中から1人講師の補助を行う。)</p>	<p>7月29日(木) 8:30～15:20 各部署で実施 (確認試験は、学研の指定研修のテストを実施・満点で合格。<u>多重課題シミュレーション前に合格が要件</u>)</p>
<p>* リフレッシュ研修：夏 NEW</p>	<p>* 日頃の悩みや不安について整理し、同期や係長と共に対処法を共有する * 同期の仲間とゲーム等をして語り合ったりしてリフレッシュする</p>	<p>新人配属部署の教育担当者/新人看護職員研修運営委員師長/教育責任者</p>	<p>7月29日(木) 15:30～17:00 多目的1・2 または各部署で実施</p>
<p>* 必須 各部署で企画した部署別学習会に出席し学習することがレベルIの認定条件</p>	<p>* 部署における代表的な疾患の病態生理・治療・看護について理解し活用できる</p>	<p>(講師の条件)レベルII以上の認定者</p>	<p>各部署で11月までに実施すること</p>
<p>* 必須 関連部署 OJT 伝達講習</p>	<p>* 所属する部署の関連部署について理解する * <u>昨年度受講者より伝達講習を受け、関連部署で行われる検査・治療・看護と自部署での看護継続性と関連性について学ぶ</u></p>	<p>(講師の条件) 昨年度の関連部署 OJT 受講者</p>	<p>各部署で11月までに実施すること</p>
<p>* 看取りのケア</p>	<p>* 亡くなられた方の尊厳を守りながら死後のケアを学ぶ : 亡くなられた方の重要他者の気持ちに配慮したケアを学ぶ ★学研「ビジュアルナーシングメソッド 緩和ケアコース「家族のケア」の以下を各自視聴+学研テスト満点で受講とみなす。 ①家族ケア ②看取りのケア ③遺族ケア * 実践については各部署で教育担当者や実地指導者が実施する。</p>	<p>学研講義活用 教育担当者</p>	<p>① 各自視聴 ② 学研テストで100点を取得する ③ 実践指導は各部署OJTで実施</p>
<p>* リフレッシュ研修：秋</p>	<p>* 同期とゲームやクイズ等をしながら語らいリフレッシュする * 半年間の成長をお互いに認め合う * 今後半年の自己の課題を見出し、整理できる</p>	<p>新人看護職員研修運営委員師長・新任の委員/教育責任者</p>	<p>10月21日(火) 15:00～17:00</p>
<p>* 多重課題シミュレーション PART. I 注：静脈注射確認試験を合格・修了していること</p>	<p>* 夜勤業務自立向け、多重課題に取り組むことができる * 多重課題を達成するための自己の課題を明らかにする 注) <u>本研修前に静脈注射の確認試験を合格しておくこと。</u> * 高齢者の疑似体験をして、リスクアセスメント能力を高めよう！ * 患者体験を通して、今後の看護実践に活かす NEW</p>	<p>各部署教育担当者/新人研修運営委員師長/教育責任者</p>	<p>10月14日(木) 8:30～15:30のうち20分程度/人 多目的1・2 備考) 16時～2年目対象の感染の研修でベッドをそのまま使用。終了後に2年目が後片付けを行う。</p>
<p>* 多重課題シミュレーション PART. II</p>	<p>* 多重課題を達成するための自己の課題を明らかにする ～自分の看護実践を客観的にみて振り返ろう～</p>		<p>10月21日(木) 午前中に各部署で実施</p>
<p>* 多重課題シミュレーション PART. II</p>	<p>* 自部署で受け持ち患者に行った看護実践をもとに、自己の看護を振り返り看護観を深める * <u>キャリア開発ラダーレベル1申請時のナラティブ記載に活かす</u></p>	<p>各部署師長・係長 教育責任者</p>	<p>12月中に自部署で実施(日時は部署の都合による)</p>
<p>* すぐに実践できる看護を学ぼう！ 地域における病院と当院看護師の役割</p>	<p>* がん対策基本法とがん診療連携拠点病院の役割を理解する * がん相談支援センター利用者の相談内容とその看護の実際を学び、今後の自己の看護実践に活かす</p>	<p>がん相談支援センターがん看護専門看護師：川原明子(2020年度研修動画視聴)</p>	<p>上記の多重課題パートIIと同一日に部署内で視聴する</p>
<p>* キャリア開発ラダー説明会 赤十字系医療施設出身者以外の既卒新採用者</p>	<p>* 目的を理解し、必要な準備を行なうことができる * <u>申請書やナラティブの書き方を学ぶ NEW</u> 備考) キャリア開発ラダー副委員長と教育責任者が作成したPPTを使用して各部署師長が対象へ説明する。 NEW</p>	<p>各部署師長/キャリア開発ラダー副委員長/教育責任者</p>	<p>10月中に各部署で実施(日時は各部署都合による)</p>
<p>* 「静脈注射 レベル3」 既卒新採用者も必須 注) 過去に本研修を当院で受けていない者は、受講必須</p>	<p>* 化学療法(抗がん剤)、循環動態への影響が大きい薬物、麻薬の静脈内投与、輸血を安全に実施するための知識・技術を習得する * 静脈内留置針挿入の技術を認定看護師に確認してもらい、自己の課題を明らかにする</p>	<p>各部署教育担当者/新人看護職員研修運営委員師長/教育責任者/(教育委員かブリセプターから1人講師の補助を行う。)</p>	<p>令和4年3月11日 (時間は各部署の都合による)</p>
<p>* まとめ研修 「ナラティブ発表会」</p>	<p>* この1年で自分の心に残っている看護の体験を語る * 自分の看護観を明確にし、他者へ伝えることができる ★発表会参加者もキャリア開発ラダー申請に活かす NEW</p>	<p>新人看護職員研修運営委員会</p>	<p>令和4年4月に各部署で発表会実施 (翌年新人看護師が聴講できるよう日程調整)</p>

	*包帯法	*包帯法について学ぶ ★学研「ビジュアルナーシングメソッド「創傷管理技術～包帯法の4項目」を各自視聴+学研テスト満点で受講とみなす。	学研講義活用 教育担当者	① 各自視聴 ② 学研のオンデマンドのテストで100点を取得する ③ 実践指導はOJT
	*止血法	*止血法について学ぶ ★学研「ビジュアルナーシングメソッド「救命救急処置～止血法」を各自視聴+学研テスト満点で受講とみなす。		
	*重症度、医療、看護必要度研修 既卒新採用者も必須	*重症度、医療、看護必要度について理解する *正しい看護記録のあり方・書き方について理解する *重症度、医療、看護必要度の評価ができる 備考)研修の最後に確認テストあり。 満点を取るまで各部署で再テスト実施。 確認テストは、2年目以降も毎年全員実施。(満点で合格)	基準委員長	9月30日(木) 9:00~11:00
対象	研修名	研修目標	講師	日時
レベル2	*社会の変化と保健医療福祉・看護界の動向 (注)ラダー申請予定者は必須 事前学習: ①看護協会HPや協会ニュースから社会の変化や看護界の動向について情報を得てくること ②当院の2025プランを見てくること	*国内外の保健・医療・看護・福祉の動向がわかる *国内における最新の健康問題に関心を持つことができる *地域の特性や社会資源、ニーズを把握し、看護の対象を個人から集団に広げ考えることができる	看護部長	6月1日(火)
	*チーム医療	*がん対策基本法とがん診療連携拠点病院の役割を理解する *がん相談支援センター利用者の相談内容を今後の看護に活かす *地域における当院の役割を学び、自部署での看護実践に活かす *患者支援センターの役割を知る *退院調整における看護師の役割を学び、自部署での看護に活かす *チーム医療における看護師の役割を学ぶ	がん相談支援センターがん看護専門看護師:川原明子 患者支援センター:佐藤陽子(2020年度研修動画視聴)	2020年度に実施した研修動画を各部署で視聴し、アクションシートを12月教育委員会まで教育委員長へ提出で受講とみなす
	*診療情報管理Ⅱ「看護記録」	*診療情報管理について理解する *看護記録の目的を理解し、効率的に、客観的な記録を書くための自己の課題を明らかにする。 ★学研「基礎習得コース～『あなたの記録は大丈夫ですか?～何を残す?何を伝える?～』を各自視聴後アクションシートを提出	学研講義活用	学研を各自視聴後、アクションシートを12月教育委員会まで教育委員長へ提出で受講とみなす
	*看護倫理Ⅱ (注)ラダー申請予定者は必須	*看護倫理の概要を学び、倫理的問題を客観的な視点で理解できる *部署での倫理的問題に関心を持つことができる *昨年度の部署の倫理的問題について看護師の倫理綱領や赤十字の原則に照らし合わせて考えることができる	看護部:佐藤由夏	7月5日(月)
	*看護とコミュニケーションⅡ	*社会人基礎力について理解する *すぐできる!報告・連絡・相談のノウハウを学ぶ *看護の対象と向き合うためのコミュニケーションスキルを学ぶ *自己のリーダーシップ・メンバーシップを、今後に活かす NEW *共に学び、共に育つ職場風土作りを考えよう NEW ★事前課題:学研「医療職に必要な『社会人基礎力』の育て方」を研修前に各自視聴	教育委員長	7月15日(木)
	対象	研修名	研修目標	講師
レベル3 対象限定:レベルⅢ以上をめざす人 レベルⅢ以上を申請する者は受講が望ましい	*看護倫理Ⅲ「倫理的意思決定」 対象者:「看護倫理Ⅱ」受講済みの者 レベル3を目指す人 (注)ラダー申請予定者は必須	*看護倫理の概念、考え方を理解し、今までの疑問や倫理的な問題に気づき客観的に分析できる *分析モデルを用いて臨床の倫理問題を明確化し解決方法を見出すことができる	倫理委員会副委員長・がん相談支援センターがん看護専門看護師:川原明子	6月22日(火) 9月16日(木) いずれか1回に参加 (各部署で受講生を均等に振り分け)
	*看護とコミュニケーションⅢ	*コーチングの概念を理解する *同僚の能力を引き出すための手法を知る *アサーティブコミュニケーションを理解する ★学研「成人教育入門編～ティーチング・コーチング・ファシリテーションの基本」各自視聴	学研講義活用	学研を各自視聴後、アクションシートを12月教育委員会まで教育委員長へ提出で受講とみなす
	*国内外の保健・医療・看護・福祉の動向 (注)ラダー申請予定者は必須	*世界の国々それぞれには、歴史、宗教、政治、社会、言語、慣習、ジェンダーなどがあることを理解する *グローバル化に伴い、看護の対象も多種多様であることを理解し、地域の健康問題について考えることができる *自部署の看護の対象にグローバルな視点で必要な配慮は何かを考えることができる。 ★事前課題:学研「看護のプロフェッショナル『豊富な国際活動から語られる看護師のあるべき姿とは』名古屋赤十字病院 伊藤明子看護部長講師」を研修前に各自視聴 NEW	看護部:今野千春	9月28日(火)

	<p>*リーダーシップとメンバーシップ</p> <p>全3回に参加</p> <p>*うち2回目は「他部署での見学実習」に参加必須とする</p>	<p>*自己のリーダーシップ・メンバーシップの取り方について考える</p> <p>*所属する職場の状況を分析し、課題を見出すことができる(チャレンジシートに記載し、講師指定の日時・場所へ提出)</p> <p>*他部署での見学実習を通して、自部署の業務改善につなげる NEW</p> <p>*他部署での見学実習を通して、他者のリーダーシップ・メンバーシップのあり方を学ぶ NEW</p> <p>*部署の管理者・スタッフと共同で部署のチーム活動(業務改善)に取り組み、成果を発表できる</p>	業務委員会師長	<p>1回目:6月14日(月)</p> <p>2回目:他部署での見学実習 NEW</p> <p>3回目【実践報告会】</p> <p>11月18日(木)</p> <p>14:30~15:30</p>
	<p>*他部署での見学実習</p> <p>・レベル3「リーダーシップとメンバーシップ」に参加者は必須</p> <p>・1部署へは2~3人程度とする</p> <p>・手術室・カテ室・救外は、学生実習や新人ローテーションと重ならない日に行うこと</p>	<p>*自部署の看護に関連する部署での見学実習を行う</p> <p>*見学実習の学びを自己の看護実践や自部署の業務改善に活かすことができる NEW</p> <p>*翌年に自部署で新人看護師や同僚に伝達講習を行う</p>	当該部署の看護師長・係長・教育委員ほかレベル3を取得しているスタッフ	<p>実習先の部署と師長同士で日時決定</p> <p>単独での受講者のみ、アクションシートは研修先の部署師長の確認印をもらい前分9月、後分2月に、委員会で提出</p>
レベル4	<p>*冬季感染症流行期の感染管理</p> <p>対象者:看護管理者、レベル3取得済みの人</p>	<p>*看護の対象や職員へ働きかける上での正しい知識を習得する</p> <p>*有症状発生時の対応と病床管理の考え方について学ぶ</p>	感染管理認定看護師 福田恵	11月11日(木)
対象	研修名	研修目標	講師	日時
全看護師	CVポート管理と穿刺	<p>*CVポートの特徴と合併症について理解できる。</p> <p>*安全なCVポート管理と穿刺ができる。</p>	がん化学療法看護認定看護師:藤原朋未・高橋一美/退院調整専従看護師佐藤陽子	5月17日(月) 13:30~15:00
	抗がん剤の末梢穿刺・ポート穿刺	<p>*抗がん剤投与を目的とした末梢静脈留置針、CVポートの穿刺ができる。</p> <p>*静脈確保に関する知識と技術を習得する。</p>	がん化学療法看護認定看護師:藤原朋未・高橋一美	6月21日(月) 13:30~17:00
	<p>*IVナースフォローアップ研修プログラム NEW</p> <p>対象:IVナース認定者→2020年2月14日の研修を受けた第一期生の方対象</p>	<p>*IVナース認定後の自己の技術・知識を再確認し、更に実践力を高めよう</p> <p>(備考)自部署または外来化学療法室での技術チェックと実践の再指導を中心とする予定</p>	がん化学療法看護認定看護師:藤原朋未・高橋一美	2月日() 日程・詳細は後日案内
	<p>*ストーマケアナース院内認定研修 NEW</p> <p>対象者:1)~3)すべてを満たす者</p> <p>1)ストーマ造設患者やその家族への指導経験を有し、取得後も自部署で継続的にストーマケアに携わる機会がある者</p> <p>2)キャリア開発ラダーレベルII以上を取得している者</p> <p>3)所属長の推薦がある(募集人数:5名程度(応募複数の場合はストーマ造設患者の多い部署を優先する))</p>	<p>*ストーマケアの基本的知識と技術を習得できる。</p> <p>*ストーマ造設者に対し術前準備ができる(ストーマサイトマーキングを含む)。</p> <p>*適切なストーマ装具が選択できる。</p> <p>*部署内において、主体的にケアの実践と指導・スタッフ教育ができる。</p>	皮膚・排泄ケア認定看護師 小松恵智子 加賀谷奈緒子	研修2回シリーズ+実習:プログラムすべて終了後認定
	9月8日(水) 13時30分 ~17時 福利厚生棟会議室	第1回:ストーマケアの基本(講義+演習) ①ストーマとは ②ストーマの種類(消化管・尿路)と管理 ③ストーマ管理における観察のポイント ④ストーマサイトマーキング ⑤基本的なストーマケア(スキンケア、装具の取り扱い)		
	10月13日(水) 13時30分 ~12時30分 福利厚生棟会議室	第2回:ストーマ周囲皮膚炎とストーマ合併症(講義+演習) ①ストーマ周囲皮膚炎とその対策 ②ストーマ合併症と装具の選択		
	11月24日(水) 16時~17時 福利厚生棟会議室	研修修了者対象知識チェック ・全2回研修参加者対象 ・講義資料持ち込み可		
	実習	自部署またはストーマ外来でのストーマケア(2例)		
	<p>*スキンケアナース院内認定研修 NEW</p> <p>対象者:1)~3)すべてを満たす者</p> <p>1)褥瘡専任看護師(看護師経験5年以上)またはそれ</p>	<p>①褥瘡に関連した(医療関連機器圧迫創傷・スキンテア・失禁関連皮膚障害を含む)予防的ケアと治療的ケアについての知識と技術を習得できる。</p> <p>②部署内において、主体的にケアの実践・スタッフ教育ができる。</p>	皮膚・排泄ケア認定看護師 小松恵智子 加賀谷奈緒子	

<p>に同等する褥瘡小委員の経験がある者</p> <p>2) キャリア開発ラダーレベルⅡ以上を取得している者</p> <p>3) 所属長の推薦がある(募集人数:各部署1名程度)</p>	<p>研修3回シリーズ+実習: プログラムすべて終了後認定</p>		
	<p>5月10日(月)</p> <p>14時30分～</p> <p>16時30分</p> <p>多目的ホール1・2</p>	<p>第1回: スキンケアを学ぶ(講義+演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清潔・保湿・保護ケア ・紙おむつでの排泄ケア(IAD・スキンテア) ・医療用テープの正しい張り方・剥がし方 	
	<p>6月7日(月)</p> <p>13時～16時30分</p> <p>多目的ホール1・2</p>	<p>第2回:</p> <p>1) 褥瘡リスクアセスメントを学ぶ(講義)</p> <p>①褥瘡とは</p> <p>②褥瘡危険因子評価・褥瘡対策計画のシステム(スキンテア)</p> <p>③褥瘡ハイリスク項目(MDRPU)</p> <p>④褥瘡に関連する栄養</p> <p>2) 褥瘡評価と褥瘡治療ケアを学ぶ(講義+演習+実習)</p> <p>①創傷治癒過程</p> <p>②DESIGN-Rの付け方</p> <p>③ドレッシング材について</p> <p>④外用剤について</p> <p>⑤褥瘡処置の方法</p> <p>⑥褥瘡の観察・評価(2例)</p> <p>⑦スキントラブルへの対応(2例)</p>	
	<p>7月19日(月)</p> <p>14時～16時30分</p> <p>多目的ホール1・2</p>	<p>第3回: 体圧分散ケアを学ぶ(講義+演習)</p> <p>①体圧分散用具の種類と構造</p> <p>②臥床時の体圧分散ケア方法</p> <p>③座位時の体圧分散ケア方法</p>	
	<p>8月25日(水)</p> <p>16時～17時</p> <p>福利厚生棟会議室</p>	<p>研修修了者対象知識確認チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全3回研修参加者対象 ・講義資料持ち込み可 	
<p>*がん薬物療法の実践における患者の安全</p>	<p>・がん薬物療法における過敏症対応について学ぶ</p>	<p>がん化学療法看護認定看護師: 藤原朋未・高橋一美</p>	<p>6月15日(火)</p>
<p>*新採用・全職員対象「BLS」</p>	<p>*BLS=Basic Life Supportの知識と技術を身につけることができる 備考) 1年目で未受講の卒後2年目は受講必須</p>	<p>BLSインストラクター</p>	<p>各自で申込み</p>
<p>*新採用・全職員対象「RRS」</p>	<p>*RRS=Rapid Response Systemの知識と技術を身につけることができる</p>	<p>RRSインストラクター</p>	<p>各部署で申込み</p>
<p>*標準予防策と感染経路別予防策の基本</p> <p>注)「手指衛生の5つの瞬間」と3回シリーズで受講</p>	<p>STEP1</p> <p>*標準予防策における手指衛生・个人防护具と感染経路別予防策について正しい知識を習得する</p> <p>備考) 卒後2年目必須研修と一緒にを行う</p>	<p>感染管理認定看護師 井上貴子</p> <p>感染委員師長・係長</p>	<p>9月30日(木)</p> <p>15:00～17:00</p>
<p>*「手指衛生5つの瞬間」に基づく実践対象者:</p> <p>①2020年度の「標準予防策と感染経路別予防策の基本」受講者は必須</p> <p>②2019年度までの全看護師対象「標準予防策と感染経路別予防策の基本」の受講者は任意</p>	<p>STEP2</p> <p>*「手指衛生5つの瞬間」に基づく実践ができるように習得する</p> <p>*看護実践のリーダーとして、看護職員に手指衛生を指導するための知識とスキルを学ぶ</p> <p>備考) 卒後2年目必須研修と一緒にを行う</p>		<p>10月14日(木)</p> <p>16:00～18:00</p>
	<p>STEP3 NEW</p> <p>*STEP1・2を実践してみよう</p> <p>備考) 卒後2年目必須研修と一緒にを行う</p> <p>*ベッドサイドケア実践シミュレーションは、同一日に行う新人多重課題のベッドをそのまま使用。後片付けは本研修受講者が行う。</p>		
<p>「浣腸」</p> <p>「膀胱留置カテーテル」</p> <p>対象者: 全員</p> <p>※事前学習として、以下の学研視聴を活用すること</p> <p>①「新人技術チェックコース～排泄援助技術各種」</p> <p>②「基礎習得コース:排泄ケアにおける感染予防」</p>	<p>【浣腸】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解剖生理を踏まえて禁忌事項を復習し、安全に実践できる。 ・手技を他者に評価してもらい、正しい方法を学び直しする ・実践前後の観察ができる。 <p>【膀胱留置カテーテル挿入と管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解剖生理を踏まえて禁忌事項を復習し、安全に実践できる。 ・手技を他者に評価してもらい、正しい方法を学び直しする ・実践前後の観察ができる。 	<p>各部署教育担当者・教育委員</p> <p>医療安全委員</p>	<p>令和4年1月～3月</p> <p>受講者名簿は全員受講後に教育委員会へ提出する。(最終3月教育委員会)</p>
<p>*看護研究</p>	<p>*日々の実践をケアの質向上につなげる</p> <p>★学研:看護研究コース全16項目を各自受講</p>	<p>学研講義活用</p> <p>各自視聴</p>	<p>アクションシート</p> <p>提出不要</p>
<p>*メンタルヘルス研修 NEW</p>	<p>*メンタルヘルス不調となるメカニズムやストレスマネジメント法を知る。</p> <p>★学研:院内全体研修「医療職のメンタルヘルスをケアするストレスマネジメント」を各自受講</p>	<p>学研講義活用</p>	<p>学研を各自視聴後、アクションシートを12月教育委員会まで教育委員長へ提出で受講とみなす</p>
<p>*学会報告会・看護研究発表会</p>	<p>*看護学会・看護研究で得た知見を看護職員間で共有し、各部署で活かす</p> <p>注) 感染流行や病院イベント等により日時変更の可能性もある。</p>	<p>教育委員会</p>	<p>① 10月26日(火)</p> <p>② 11月8日(月)</p> <p>③ 11月15日(月)</p> <p>④ 11月25日(木)</p> <p>17:10～18:30</p>

対 象	研 修 名	研 修 目 標	講 師	日 時	
対象別	卒業2年目対象 必須	*フォローアップ研修：パート1	*2年目の看護部教育計画を理解する *2年目の課題達成に向けて行動計画を立案する *「事例検討の進め方」について説明する	新人看護職員研修運営委員師長/教育責任者	4月12日(月) 15:00~17:00 多目的1・2
		*フォローアップ研修：パート2 NEW	*春に立案した2年目の行動計画を中間評価し、後期や3年目の「あるべき姿」を踏まえた行動目標を考えることができる *「事例検討の進め方」を再確認し、必要な準備を即開始できる。 以降は各部署の師長・係長が支援する 備考) 事例検討最終提出は令和4年5月末提出	新人看護職員研修運営委員師長/教育責任者	11月18日(木) 15:00~17:00 多目的1・2
		*認知症を学び支えよう NEW (認知症サポーター養成研修) ・2回の研修のうち1回参加のこと (各部署で均等に参加者振り分け) ・看護補助者研修と一緒に開催	*認知症のある対象を理解し、コミュニケーションに役立てる	認知症看護認定看護師：出雲裕子	2回にわけて実施 ①5月27日(木) 9:00~10:30 ②10月28日(木) 9:00~10:30
		*標準予防策と感染経路別予防策の基本 注)「手指衛生の5つの瞬間」と3回シリーズで受講する。	STEP1 *標準予防策における手指衛生・个人防护具と感染経路別予防策について正しい知識を習得する 備考) 全看護師対象研修と一緒にを行う	感染管理認定看護師 井上貴子 感染委員師長・係長	9月30日(木) 15:00~17:00
		*「手指衛生5つの瞬間」に基づく実践 (2020年度新採用者は感染予防策Iを各部署で行ったため、今年度必須とする)	STEP2 *「手指衛生5つの瞬間」に基づく実践ができるように習得する *看護実践のリーダーとして、看護職員に手指衛生を指導するための知識とスキルを学ぶ 備考) 全看護師対象研修と一緒にを行う		
			STEP3 NEW *STEP1・2を実践してみよう 備考) 全看護師対象研修と一緒にを行う *ベッドサイドケアの実践シミュレーション→新人多重課題と同日なので、ベッドはそのまま使用する。終了後片付けを全員で実施。		
		*はじめてのリーダー研修	*リーダーシップとメンバーシップについて理解する *リーダー業務開始前に、当院のリーダー業務・メンバー業務内容を復習し、更に理解を深め行動できる ★学研：看護管理コース「がんばれ！新米リーダー！初めての現場マネジメント」を各自受講必須	教育委員会師長	令和4年3月予定 日時後日案内
		*「到達目標」の最終評価	*2年目の課題達成のための行動計画を自己評価し、次年度への自己の課題を明らかにする	提出先：教育責任者	提出締切 令和4年3月の新人看護職員研修運営委員会で提出
*看護技術チェック	*1年目以降も未到達の看護技術は、全項目到達するまで研修する	全項目到達したら教育責任者へ提出	最終目標 令和4年3月末		
	*「事例検討」	*看護理論をもとに受け持ち患者の看護過程を展開する *フィジカルアセスメントを適切に行う *事例を通して自己の看護を振り返り、看護観を深める 注) 事例検討したものをキャリア開発ラダーレベル2申請時のナラティブの記載に活かす NEW	部署看護師長/係長 教育責任者/新人看護職員研修運営委員/教育委員師長	令和4年5月末まで教育責任者へ最終提出 6月以降に各部署で発表会実施(2年目看護師が聴講できるよう日程調整)	
卒業3年目対象 必須	*隣接部署や関連部署での見学実習 NEW	*他部署での見学実習の学びを自己の看護に活かすことができる *夜間フロア問応援に行く前に、隣接部署や関連部署の看護実践を見学する 注) 各部署看護管理者と教育委員の支援を受けながら、事例検討と共に教育計画に組み込み、各自計画的に期限内に実施する。	研修先の部署のレベル2以上を取得しているスタッフ	研修先の部署と自部署師長で日時決定 アクションシートは研修先の部署師長の確認印をもらい前期分9月、後期分2月に、教育委員会で提出	
	*令和4年度実地指導者フォローアップ研修 対象：令和4年度に新人看護師のプリセプターの役割を担った方対象	*実地指導者として新人看護職員に行った支援を評価し、自己の課題を明らかにする *7月以降の部署の新人看護職員の支援体制を見出すことができる ★新人看護職員研修運営委員師長、教育責任者のいずれか同席	部署看護師長・係長・教育委員・新人看護職員研修運営委員師長・教育責任者	6月末~7月上旬 各部署で実施 (日時は部署の都合による)	
	*令和3年度実地指導者研修 対象：①令和3年度に新人看護師のプリセプターの役割を担う方は 必須 ②各部署で指導的立場にあるスタッフも参加	*来年度の新人看護職員研修の内容と自分の役割を理解する *「共に育ち合う」ことを念頭に、謙虚さを持って新人看護職員の支援ができる ★前年度3月末に実施した教育担当者研修を、各部署教育担当者が自部署で伝達講習する。(状況により教育責任者等が同席) NEW	各部署教育担当者 教育責任者	令和4年4月中旬まで各部署で実施 (日時は部署の都合による。数回に分けて実施。)	

	<p>*教育担当者研修 対象：令和4年度に部署の教育担当者の役割を担う方</p>	<p>*部署の看護職員に必要な能力を明確にする *部署の教育計画・OJTを評価し、次年度に向けて見直しをする *今年度の自己の課題と次年度の新人看護職員研修における自己の役割を明確にする *来年度の新人看護職員研修の内容を理解し、次年度に各部署で伝達講習を行う</p>	<p>教育責任者・新人看護職員研修運営委員 師長</p>	<p>令和4年 3月末の予定 8:30~17:00 *後日別途案内</p>
対 象	研 修 名	研 修 目 標	講 師	日 時
* 看護 管理者	*昇任看護係長研修（名） (注)今年度昇任係長出席	*看護係長の職務について理解する *1年間のマネジメントの経験から、次年度に向けて看護係長としての自己の課題を明らかにする	看護管理者	研修計画書は別途作成・配付
	*昇任看護師長研修（名） (注)今年度昇任師長出席	*看護師長の職務について理解する *1年間のマネジメントの経験から、次年度に向けて看護師長としての自己の課題を明らかにする	看護管理者	研修計画書は別途作成・配付
	*多様なメンバーが働き続けられるために～ワーク・ライフ・バランス実現のための働き方改革～(看護管理コース) NEW	*働き方改革のポイントや労務管理について理解する *自部署の勤務環境の課題を見出し、職員が働き続けられる仕組みを考える。	学研講義活用 各自で視聴	7月配信開始～8月27日まで各自視聴
	*効果的な入退院支援が生み出す効率的な病床管理(看護管理コース) NEW	*効果的な入退院支援ができるような看護管理を学ぶ *効率的な病床管理について理解を深め、看護部全員で病床管理に参画する。	学研講義活用 各自で視聴	8月配信開始～8月27日まで各自視聴
	*部下のやる気を高める目標設定と面談の活用(看護管理コース)	*看護の質を維持・向上するための、スタッフ育成のための方略としてのリフレクションを理解する *リフレクションを活用できる	学研 各自で視聴	4月1日～5月31日まで各自視聴
	*冬季感染症流行期の感染管理 対象者：看護管理者・レベル3取得済みの人	*看護の対象や職員へ働きかける上での正しい知識を習得する *有症状者発生時の対応と病床管理の考え方について学ぶ	感染管理認定看護師 福田恵	レベル4の研修と一緒に開催
	*看護研究計画書の作成 対象者：看護研究計画書作成の指導にあたる師長・係長・教育委員・倫理委員	*研究班が意欲を維持し計画的に活動できるように必要な支援方法を学び、部署の師長・係長・倫理委員・教育委員が共同して関わることができる *研究計画書の倫理的配慮について職員に指導できる感性を養う *看護大学教員からの助言を活用する	倫理委員長 教育委員長 教育責任者	毎年10～3月の教育委員会に提出。 適宜、倫理委員長にも提出(倫理委員長最終提出は後日案内)
*看護管理者研修報告会	赤十字看護管理者研修Ⅰ～Ⅱ 管理者研修課題発表(秋田県看護協会/赤十字看護管理者研修Ⅰ～Ⅱ/東北ブロック赤十字医療施設師長・係長交流研修)	*看護実践や看護管理に活用するため、研修参加者が学んだ知識・技術を共有する *前年度の看護管理者研修(赤十字(Ⅰ～Ⅲ)、秋田県看護協会(Ⅰ～Ⅲ)受講者の管理課題の取り組みと成果を共有する。 注)今年度キャリア開発管理者ラダー取得予定者は、いずれかに参加すること。	担当：看護部 後日別途案内	
*救護員としての赤十字看護師長研修「災害と看護管理」(PTTあり) (注)看護師長・係長は「救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修2」の受講希望者に、各部署で以下について講義する。 1. 災害発生状況と看護ニーズを理解する 2. 災害サイクル別の災害看護活動を理解する 3. 被災者特性に応じた災害看護活動を理解する	*災害各期における様々な状況下での看護管理者の役割を理解する *看護管理者として災害看護に関する実践的課題と今後の展望について考察する *部署の災害・テロ・感染等の対策の仕組みを作る *定期的な災害・テロ・感染防止の訓練を行い、スタッフの災害看護教育を行う。	部署の看護師長・係長	「救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修」の計画に合わせて、部署での教育計画を立案・実践する(複数回に分けて開催するなどの工夫可)	
*看護管理者研修 看護管理過程におけるPDPの活用 対象：看護師長 (注)講義はありません。	*自部署の管理課題を明らかにし、PDCAサイクルを回すことを意識し目標達成を目指す(ラダーの指標「管理過程」も参照すること、看護部で配布した書籍も活用すること) *管理課題に取り組むうえでの困りごとから真の問題を探り、解決のためにすぐ実行できる効果的な取り組みを見出すことができる *全看護管理者が管理者ラダーのレベルを取得することで、スタッフのラダー申請の動機付けとなることをめざす	担当：看護部	各自で取り組み、2月頃「看護師長管理課題発表会」で成果発表	
看護助手	*看護補助者対象研修 ・2回の研修のうち1回参加のこと 参加必須	*医療制度の概要と当院の組織体制と機能 *医療チームにおける看護補助者の役割と業務、業務上の責任 *患者への応対と接遇 *医療における倫理と個人情報保護法遵守 *医療安全 *感染予防管理	看護部 医療安全管理者 感染管理認定看護師	集合研修 7月14日(水) 15:00~16:30 7月27日(火) 15:00~16:30
	*認知症を学び支えよう(認知症サポーター養成研修) ・2回の研修のうち1回参加のこと ・卒後2年目研修と一緒に 看護補助者の対象者：今まで受講歴のない方	*認知症のある対象を理解し、コミュニケーションに役立てる	認知症看護認定看護師：出雲裕子	2回にわけて実施 備考)卒後2年目研修と一緒に
	*看護援助技術「清拭・体位変換」	*看護助手として、看護師と協働して安全に援助するための技術を修得する 備考)学研を各自視聴後に、各部署の部署別学習会に参加。 ・看護師と看護助手が協働で学び、実践できるよう、各部署の特性に応じた方法を数回にわけて多くのスタッフへ指導する NEW	各部署係長/基準委員/教育委員(研修リーダー：基準委員会師長)	各部署の部署別学習会で看護師・看護補助者と一緒に研修実施(日時は各部署の都合による。数回開催。)

教育専門コース

分野	研修名	研修目標	講師	日時
救急看護	*RRS に役立つ臨床推論 対象：全看護師	*臨床推論を RRS コールに関連づけて学ぶ *急性期疾患患者に対し、予測した対応や観察が出来る知識を習得する	救急看護認定看護師・急性重症患者看護専門看護師： 小笠原美奈	5月11日（火）
感染管理	*冬季感染症流行期の感染管理 対象者： <u>看護管理者およびレベル3取得済の人</u>	*有症状者発生時の対応と病床管理の考え方について学ぶ *看護の対象や職員へ働きかける上での正しい知識を習得する	感染管理認定看護師 福田恵	11月11日（木）
新生児看護	*超早産児の蘇生について（応用編） 対象： <u>レベル2を取得済で、超早産児の蘇生介助に携わった経験がある人</u>	*超早産児の特徴を理解し、蘇生について看護の役割と実践のポイントを理解できる *部署間連携に役立てるための実践能力を習得する	新生児集中ケア認定看護師：岡田智子・小林節子	新生児病棟で シミュレーション
認知症看護	*認知症高齢者への看護 対象：全看護師	*高齢者、認知症のある患者の特徴を理解し、高齢者体験を通して関わり方を学ぶ	認知症看護認定看護師 出雲裕子	出前研修 (開催時期は病棟希望 に応じます)
皮膚排泄ケア	*ストーマケア（基礎編） 対象：全看護師	*予防的・治療的スキンケアを理解し、実践に活かすことができる	皮膚排泄ケア認定看護師：小松恵智子・加賀谷奈緒子	6月21日（月）
	*ストーマケア（応用編） 対象者： <u>ストーマケア（基礎編）受講者・ストーマケアに従事する者</u>	*ストーマケアに難渋する患者に対し、根拠を持って対応ができる		8月30日（月）
	*スキントアの発生機序とケア 対象者：全看護師	*スキントアについて理解を深める		11月19日（金）
訪問看護	暮らしを支える訪問看護 対象者：全看護師	訪問看護の実際を知り、入院中の看護、退院支援に活かすことができる。	訪問看護認定看護師 鎌田幸子	5月13日（木）
手術看護	*術前術後の観察・ケアに活かす周術期看護 対象者：全看護師（10名程度） ・研修終了後、「関連部署での見学実習」（手術室）を必ず行うこと。	*手術・麻酔侵襲が患者に及ぼす影響について学ぶ。 *術中看護を知り、術前術後の看護と関連付けて理解できる。	手術看護認定看護師 宮内奈津美	7月15日（木） (見学実習の日程は 相談の上調整)
特定行為創傷処置	創傷に対する陰圧閉鎖療法について 対象者：全看護師	陰圧閉鎖療法を理解し、機器の管理や創部の観察ができる。	特定行為研修修了者：藤原文子	当該病棟（主に消化器外科患者）の 部署別学習会

合同企画

認知症看護 がん看護	*せん妄を「知る」から「実践」へ—DELTAプログラム— 対象者：全看護師対象	*せん妄の概要とせん妄症状を知ることが出来る *せん妄のリスク評価、アセスメント、対応ができる *患者体験を通じてせん妄患者の想いを知ることが出来る	認知症看護認定看護師 出雲裕子 がん看護リソースナース	8月26日（木）
---------------	--	--	--------------------------------	----------

教育専門コース

がん看護実践コース		めざすがん看護『その人らしく「生きる」を支える』			
	研修名	研修目標	講師	日時	
がん看護総論	がんの基礎知識	*がん医療と薬理 *がん薬物療法と使用される抗がん剤の特性	*薬物動態の基礎について理解できる 1. がん薬物療法と使用される薬剤の特性と副作用を理解できる 2. がん薬物療法の副作用の発生機序と支持療法を理解できる	薬剤師	がん看護委員会
		*がん患者と栄養	*がん患者の栄養障害の病態と治療や病状の変化に伴う栄養管理の方法が理解できる がん患者にとっての食べることの意味について考えることができる	管理栄養士	がん看護委員会
	がん看護の基礎となる考え方	がん医療と看護倫理 *出前講座！ 部署のがん看護倫理を一緒に考えよう	1. 看護実践における倫理的課題を捉えることが出来る 2. がん治療・療養過程における患者・家族の意思決定支援について考えることが出来る	がん看護リソースナース	各部署単位で申し込み
		がん患者の喪失と危機 *がん患者の危機状況への看護介入 看護師の「危機」も回復できる！	1. がん患者が体験する危機状況を、危機理論を用いてアセスメントし看護介入できる。	がん看護専門看護師 師：高橋志薫	5月18日（火）
		がん患者とチームアプローチ AYA世代がん患者の暮らしを支える看護	1. AYAがんの特徴を理解できる 2. AYA世代がん患者の暮らしを支える看護について考えることができる	がん看護専門看護師 師：川原明子	7月12日（月）
	がん看護実践の基本	がん看護実践の基本概念と方法 *がん患者の“よく生きる力”を支えるために 知っておきたいセルフケア	1. がんサバイバーシップとセルフアドボカシーを理解する 2. がん患者のセルフケアをアセスメントし、理論に基づいた支援を考える 3. 家族、多職種との連携・協働で実現するセルフケア支援を考えることができる（事例紹介）	がん看護専門看護師 師：高橋志薫	6月24日（木）
		*がん患者の症状を知って アセスメント力を高めよう	1. 患者主体の症状マネジメントの考え方について理解できる 2. がんの病状の変化に伴う身体症状の病態に基づきアセスメントできる 3. 代表的な症状に対する薬物療法・非薬物療法（薬物療法以外の緩和方法和生活の工夫）について説明できる	緩和ケア内科部長 小松田智也先生	がん看護委員会主催
		*オンコロジーエマージェンシー ～がん患者の急変をとらえる～	1. オンコロジーエマージェンシーの主な病態と発生メカニズム 2. 具体的症状・兆候、支持療法について理解できる	緩和ケア内科部長 小松田智也先生	がん看護委員会主催
	がん薬物療法看護	*がん薬物療法を受ける患者を支援しよう	*がん薬物療法を受ける患者・家族の状況を包括的（心理・社会的、身体、スピリチュアル）にアセスメントし、その人らしい生活を支えるための看護を考えることができる	がん化学療法看護認定看護師 藤原朋未・高橋一美／がん看護専門看護師川原明子	7月6日（火）
		*出張講座！ がん薬物療法の有害事象をケアしよう	*レジメンに基づいた有害事象のアセスメントとケアについて考えることが出来る	がん化学療法看護認定看護師：藤原朋未・高橋一美	各部署申し込み
放射線療法看護	*がん放射線治療の基本と有害事象	*放射線療法と使用される放射線の特性について理解できる *放射線治療に伴う有害事象を理解できる	放射線治療医	がん看護委員会主催	
手術療法看護	*出前講座！ リンパ浮腫をケアしよう	1. リンパ節郭清術後のリンパ浮腫の看護について理解できる 2. リンパ浮腫の治療について知ることができる	緩和ケア認定看護師 師：高橋知佳	各部署申し込み	
緩和ケア	*せん妄を「知る」から「実践」へ —DELTAプログラム—	*せん妄の概要とせん妄症状を知ることが出来る *せん妄のリスク評価、アセスメント、対応ができる *患者体験を通じてせん妄患者の想いを知ることが出来る	認知症看護認定看護師：出雲裕子／ がん看護リソースナース	合同研修企画参照	
	*緩和ケアにおける鎮静について	1. 看取り期の苦痛緩和としての鎮静を考えることが出来る 2. 鎮静ガイドラインについて学ぶことが出来る	緩和ケア認定看護師 師：高橋知佳・清水富士子	5月20日（木）	

救護員としての赤十字看護師等研修コース

分野	研修名	研修目標	講師	日時
救護員としての赤十字看護師研修	*救護員としての赤十字看護師研修	*「救護員としての赤十字看護師」としての登録・任命に必要な知識・技術・態度を習得する	担当：看護部	6月9～11日 研修計画書は別途作成・配布
	*救急法 (注) 救護員としての赤十字看護師研修受講者は必須	*「救護員としての赤十字看護師」としての登録・任命に必要な知識・技術・態度を習得する	担当：看護部 日赤秋田県支部	7月7～9日 (9日は13時まで) 別途案内
救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修	1. 日本赤十字社看護部の救護員としての赤十字看護師の育成に関する取り組み (20分) 対象：レベル2を目指す方	*赤十字の看護師養成の歴史について理解する *救護員養成の法的根拠について理解する *研修体系を理解する *赤十字施設のキャリア開発ラダーとの関連を確認する	部署師長・係長	部署の都合による 部署の都合による (数回に分けて開催するなど工夫可)
	2. 日本における災害対策および日本赤十字社の災害救護活動～協働の時代に向けて～ (90分) 対象：レベル2を目指す方 注) 救護員としての赤十字看護師等フォローアップ研修の集合研修を受ける前に各部署で受講する	*災害の定義、分類、近年の発生傾向等について理解する *日本赤十字社が行う災害救護活動の法的根拠、国の防災対策との関連について理解する *日本赤十字社の災害救護体制とリソースについて理解する *日本赤十字社取り巻く災害救護活動の現状、今後の取り組みについて理解する		
	3. 災害サイクルに応じた看護活動 (講義60分+ディスカッション60分程度) 対象：レベル2を目指す方	*災害サイクルに応じた災害救護活動を理解する ①超急性期活動でのそれぞれの場所での活動の目的・目標を理解する ②災害サイクル各期における避難所や仮設住宅での生活支援について理解する ③静穏期の減災対策 (国の減災対策・病院等施設の減災対策・個人の減災対策) を理解する	小松かおり 鈴木詔子 鈴木理江 佐藤由夏	
	4. 災害時における感染制御について (講義70分+GW20分) 対象：レベル2を目指す方	*災害時における感染制御について理解する	福田恵	8月26日 (木) 17:15～18:15
	5. 災害の特性に応じた救護活動 (90分) 対象：レベル3を目指す方	*災害の特性による救護活動を理解する	今野千春 白鳥高広 佐藤由夏	10月28日 (木) 15:00～17:00
	6. 被災者特性に応じた看護活動 (講義30分+GW90分程度) 対象：レベル3を目指す方	*下記の対象者に対する災害看護を理解する 「高齢者・母性・小児・障がい者・精神障がい者・慢性期疾患患者など」	菅原まゆみ 齋藤さおり	項目7と同一日 8月31日 (火) 16:00～17:00
	7. 災害時の遺体の対応について (講義60分GW60分程度) 対象：レベル3を目指す方	*災害時のご遺体の対応について理解する	中川理恵 清水富士子	項目6と同一日 8月31日 (火) 15:00～16:00
災害看護実践コース	NEW 亜急性期における災害時病院業務支援演習 対象：初年度は師長・係長・救護班員 (次年度～スタッフ教育開始予定)	*疑似体験を通して災害看護の実際を理解する *被災地の病院業務支援に必要な対応について理解し、実践力を高める 備考) 研修当日はグループワークあり。 事前課題：2021.2.16の本社発行の冊子を読むこと。 *当院で同様のことが発生した際の対応をみんなで考えよう。 (自部署のマニュアルやBCPと照らし合わせて再検討する)	伊藤成美 今野千春 遠藤恵美子 五十嵐優子 白鳥高広 小山内友美 松田大典 成田ますみ 佐藤由夏	講師事前打ち合わせ 兼研修 11/19 (金) 15:00～17:00 240分 後期開催予定 日時未定